

## 区民意識・意向調査設問項目における委員からの意見・質問一覧

設問	ご意見・ご質問	回答
	今回、調査対象が18歳からに変更されたが、15歳まで引き下げてはどうか。ヤングケアラーや貧困、若年出産による高校中退の実態が少しでも把握できれば良いと考える。また年代についても、15～19歳の5年と、60～64歳の5年が幅としてはバランスがとれるように思う。	区立小学4年生から高校生年齢の全児童を対象に、ヤングケアラーの実態把握調査を実施しております。他部署と連携し、各種調査結果を次期計画に反映させる予定となっておりますので、本調査の対象は成人を想定しているため、18歳からとさせていただけたらと思います。
	区民の生命に直結する事項をとりこぼさないでほしい。把握したい情報として年代別に考えてみてはどうか。妊娠と出産（ひとり親、若年出産、特別養子縁組、産後うつ、母親の自殺）、子どもの貧困（その対策のひとつとしての子ども食堂、見守り、里親など）、子どもの親などからの虐待、ヤングケアラー、家族介護による就学継続や進学の困難、自殺 これらは、問1の前に入れていただければと思う。	設問数等を考慮し、今回の調査では設問項目の追加を見送らせていただきます。妊娠・出産、子どもの貧困等、ご提案いただいたテーマは、次期地域保健福祉計画において、厚みを持たせたいと考えている重要なテーマの一つとなっております。他部署で今年度実施している各種調査の結果も踏まえ、実態把握に務め、次期計画に反映したいと考えております。
	豊島区シルバー人材センターのことを聞いているので、もし、可能であれば、高齢者クラブの認知度や興味・関心についても聞くと良いのではないかと。	設問数等を考慮し、今回の調査では設問項目の追加を見送らせていただきます。
	「住民同士の支え合いや助け合いについていかがですか。」の項目について、前提として、町会・自治会に入っていますか、という設問を入れてもらえないか。後の設問で住民同士の繋がりを聞いているが、町会・自治会の加入は住民の50%を切っている。そのような状況下で住民同士のつながりを求めるやり方を知りたいと思う。（日常生活で町会員同士の方が支え合い、助け合いの意識が高いのではと考えているが・・・）	町会・自治会への加入状況については、問11の選択肢「1. 町会・自治会の活動」の回答状況により把握できると考えています。そのため、今回の調査では、設問項目の追加を見送らせていただきます。なお、上記選択肢の回答状況と住民同士の支え合いや助け合いに関する設問をクロス集計することにより、ご指摘いただいたような、両者の関連性についても分析できると考えています。
問1	問1は対象者が成人設定と思われるが、15歳から対象にするなら、2、収入を得る仕事だけでなく学業をしていますか、2-1 離職だけでなく、退学や進学断念という文言があっても良いかと思う。	前述のとおり、本調査は成人を対象とさせていただくため、文言の追加は見送らせていただきます。

設問	ご意見・ご質問	回答
問 2 - 1	離職だけでなく、学業断念にすること、理由に経済的理由というのがある方が良いかと思う。保育所や介護ヘルパー料金などが払えず、みずから介護せざるを得ない場合もあるかと思う。	前述のとおり、本調査の対象は成人とさせていただくため、「学業断念」といった文言の追加は見送らせていただきます。 また、保育所や介護ヘルパー料金等が払えず、介護せざるを得ない場合は、選択肢「2. 介護」を選択していただくことを想定しています。
問 2 - 2	仕事に就きたいだけでなく、学業に復帰または専念したいというのあれば良いと思う。	前述のとおり、本調査は成人を対象とさせていただくため、文言の追加は見送らせていただきます。
問 3	「ひきこもり状態にある方」とありますが、ひきこもり状態にあったという過去そういう状態であったことも聞けると良いのではないかと。	問 3 の設問及び選択肢を修正いたしました。
	「ひきこもり状態にある方」の定義について、「内臓の障害により」とあるが、内部障害とは別に内臓の疾患の場合もあるため、「内臓の障害・疾患により」としたほうがより正確かと思う。	「ひきこもり状態にある方」の定義を修正いたしました。
問 3 - 1 問 3 - 2	問 3 で過去の状態を聞くことになれば、「サービスについても受けなかった」を加えていただけると良いのではないかと。	問 3 - 1 および問 3 - 2 の設問を修正いたしました。
問 4	コロナの感染や濃厚接触者の経験した人にとって、何が不安、不便であったか、何が助かったか（無料検査や支援物資、自宅療法での連絡、ホテル療養での連絡、医療の体制、発熱外来など保健所の取組）など、具体的に聞き取りする機会になると思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策については、感染状況等によって、国の方針が何度も変更してきた経過があり、回答者の罹患時期によっても回答が異なることが予想されます。ご提案いただいたような具体的な聞き取りを行うには、設問数を増加する必要がありますが、設問数等を考慮し、今回の調査では設問項目を限定せざるを得ない状況です。</li> <li>・今年度実施する障害者等実態・意向調査と設問を合わせ、コロナ感染症発生後の新たな困りごとについての設問に変更し、障害者特有の困りごとであったかについて、突合・分析させていただきます。</li> </ul>

設問	ご意見・ご質問	回答
問 6	<p>選択肢に「物価高」を入れても良いのではないかと。</p>	<p>ご指摘いただいた「物価高」は、選択肢 4「収入が少ない」に関連するキーワードであることから、選択肢の追加は見送らせていただきます。</p>
	<p>選択肢「 8 .職場環境が悪い」について、一般的に、職場関連で負担やストレスの要因として最も多いのは人間関係だと思う。「職場環境」との表現だと、施設、構造、スペース、利便性などを想像するため、「職場の人間関係」の選択肢も入れた方が良いのではないかと考える。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、選択肢 6 及び選択肢 8 を修正いたしました。</p>
問 1 0	<p>高齢者や障害者、育児中と外国籍の方では選択肢が変わるのではないかと（日本人の声掛けの感覚と外国人への声掛け方は違うのではないかと）。</p>	<p>本設問は、困りごとを抱えている方に対する手助けの内容について問う主旨となっております。そのため、回答の際には、対象者に関わらず、手助けした内容として、当てはまるすべての選択肢に○をつけていただくことを想定しています。</p>
	<p>がんなど重い病気の人、高齢者や障害者に加え、妊婦を入れて、育児中の次に介護中（ヤングケアラー含む）を入れてほしい。          選択肢に、子どもの一時預かり、保育園・幼稚園の送迎手伝いも入れてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 1 0 の設問を修正いたしました。</li> <li>・子どもの一時預かり、保育園・幼稚園の送迎手伝いについては、対象者が育児中の方に限定されるため、「その他」に記載していただくことを想定しています。</li> </ul>
問 1 1	<p>フードバンク、衣服、生理用品、学用品、おもちゃなどの寄付や金銭の寄付を選択肢に加えてほしい。また、子ども食堂を選択肢に加えてほしい。（募金活動やチャリティーバザーの開催 とあると、主宰しなければ○をつけられないと思う人もいるかと思う）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品や金銭の寄付は、本設問におけるボランティア活動にはあたらないため、選択肢の追加は見送らせていただきます。</li> <li>・選択肢に「9.子ども食堂の運営協力」を追加しました。</li> </ul>
問 1 1 - 1	<p>コロナで活動が休止になったり、参加を自粛したため、というのを選択肢に加えてほしい。</p>	<p>選択肢に「9. コロナで活動が休止したから、または参加を自粛したから」を追加しました。</p>
問 1 1 - 2	<p>感染症が落ち着いたら参加したい、というのを選択肢に加えてほしい。</p>	<p>選択肢に「4. 感染症が落ち着いたら参加してみたい」を追加しました。</p>
問 1 2	<p>フードバンク、衣服、生理用品、学用品、おもちゃなどの寄付や金銭の寄付を選択肢に加えてほしい。また、子ども食堂を選択肢に加えてほしい。（募金活動やチャリティーバザーの開催 とあると、主宰しなければ○をつけられないと思う人もいるかと思う）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品や金銭の寄付は、本設問におけるボランティア活動にはあたらないため、選択肢の追加は見送らせていただきます。</li> <li>・選択肢に「9.子ども食堂の運営協力」を追加しました。</li> </ul>

設問	ご意見・ご質問	回答
問 1 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の要援護者関連の設問が加えられてよかったと思う。</li> <li>・当町会では、外国人の要援護者はいないが、豊島区全体では何人くらいいるのか。</li> </ul>	<p>要援護者名簿を作成する際に収集できる情報は、住所や氏名、障害の程度などに限定されていて、国籍については含まれないため、正確な数値は分かりかねます。</p>
問 1 6	<p>災害時に支援を必要とする人を地域で把握しておくためには、人命救護保護のために個人情報保護法の柔軟な活用を条例として制定しておく、という選択肢を用意しておく、条件整備に役立つのではないか。</p>	<p>本設問は、地域での必要な備えについてを聞く主旨となっております。ご提案いただいた選択肢は、区の施策に対する意見を聞く選択肢となるため、追加を見送らせていただきます。</p>
問 1 7-1	<p>自動ドアがないというのも選択肢に加えてほしい。</p>	<p>選択肢に「7.自動ドアがない」を追加しました。</p>
問 1 8	<p>バリアフリーの定義に妊婦や子ども連れも加えていただけると良いと思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、バリアフリーという言葉は、障害者や高齢者だけでなく、妊婦や子ども連れなど、あらゆる人の社会参加を困難にしているすべての分野でのバリア（障壁）を取り除く、という意味で現在用いられておりますので、定義を修正いたしました。</p>
問 2 0	<p>「高齢者や障害者、妊婦、育児中、外国籍の方など」としてほしい。</p>	<p>問 2 0 の設問を修正いたしました。</p>
問 2 0-2	<p>「7. スピードを出した自転車等がすれ違っていった」という状況について、それに対して注意するというような行動が選択肢に入っていない。 すれ違った結果、よろけたので、倒れないよう手を差し出した、などが選択肢にはいっていただければ良いかと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本設問は、困っていた人に対する行動を問う主旨となっておりますので、設問を修正いたしました。</li> <li>・ご提案いただいた「倒れないよう手を差し出した」などの選択肢は、問20-1の選択肢7を選択された方だけの選択肢となってしまったため、追加を見送らせていただきます。「手を差し出した」方の選択肢としては、選択肢「4. 自分のできる範囲で進んで手助けをした」などを想定しています。</li> </ul>
問 2 2	<p>学校教育、および、としまテレビのとしま情報ひろばをそれぞれ別の選択肢に加えてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前述のとおり、本調査は成人を対象とさせていただくため、「学校教育」といった文言の追加は見送らせていただきます。</li> <li>・特定のテレビ局を限定せず、選択肢に「3. 区のテレビ広報番組（ケーブルテレビ）」を追加しました。</li> </ul>
	<p>選択肢に「介護事業所」を追加。</p>	<p>選択肢に「1 1. 介護事業所」を追加いたしました。</p>

設問	ご意見・ご質問	回答
問 2 2	「14. 特にない」を選んだ方に、理由をお聞きしたいと思う。 たとえば、新聞をとっていない、パソコンを使っていない、スマホを持っていない、使いこなせない、興味がない、など具体的な選択肢を挙げてみると答えやすいと思う。	設問数等を考慮し、今回の調査では設問項目の追加を見送らせていただきます。
問 2 4	選択肢に「在宅医療相談窓口」を追加しても良いのではないか。	選択肢に「カ. 豊島区在宅医療相談窓口」を追加いたしました。
	自殺予防対策として、こころといのちの相談窓口をコの後、サの前に加えてほしい。また、タの後に、具体的に有名なものを入れておいてもよいかと思う。ゲートキーパー、いのちの電話、消費生活相談窓口、法テラス、もやい、TENOHASI、Colabo、などは実名を挙げることで、回答者への情報提供にもなるかと思う。	こころといのちの相談窓口は、当該相談窓口の総称であり、多岐にわたることから、設問の追加は見送らせていただきます。 また、本設問における相談窓口（人）は、主に区が設置または配置するものを指しています。そのため、ご指摘いただいた相談窓口については、選択肢「タ. 福祉関連の自主グループ・団体・ネットワーク・N P O など」を選択していただくことを想定しております。
問 2 5	退会防止の活動はなくても良いのではないか。	選択肢「9.退会防止の活動」を削除しました。
問 2 8 - 1 問 2 8 - 2	似たような質問なので、まとめる方が良いと思う。	問 2 8 - 1 は制度を知ったきっかけを問う設問で、 問 2 8 - 2 は制度に関する情報の入手先を問う設問となっております。 ご指摘のとおり、設問の意図が読み取りにくいいため、問 2 8 - 1 の設問を修正しました。
問 3 0	・選択肢 5 に妊婦を入れ、「妊婦や子育て家庭を支援するサービスの充実」としてほしい。 ・選択肢 1 1 は子どもの貧困までは考えられていない。「子どもの貧困をなくす」を選択肢に加えてほしい。 ・選択肢に自殺予防も加えてほしい。	・選択肢 5 を修正いたしました。 ・選択肢に「1 1. 子ども・若者の貧困対策の充実」、「1 5. 自殺対策の充実」を追加しました。
問 3 4	選択肢「1 単身（ひとり暮らし）」を選んだ場合、近所に親族や子どもたちが住んでいるかどうかを聞いてはどうか。	選択肢「1. 単身（ひとり暮らし）」を選択した場合には、問 7（近所の方とのつきあいの程度）や問 8（身近に相談できる人の有無）とクロス集計することによって、単身の方の孤独・孤立の実態について把握できると考えています。そのため、今回の調査では、設問の追加を見送らせていただきます。